

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第1回上越市環境政策審議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和元年度の取組について（公開）
- (2) 令和2年度の取組について（公開）
- (3) 温室効果ガス排出量の削減状況について（公開）
- (4) その他（公開）

3 開催日時

令和2年8月7日（金）午後3時から午後4時まで

4 開催場所

上越保健センター 2階 集団指導室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

委員：田村 三樹夫、山縣 耕太郎、山本 敬一、南 直樹、佐藤 広、
高橋 明彦、堀越 和宏、小池 作之、熊田 和子、高橋 裕、
岩崎 洋一、吉田 実、上原 みゆき、石川 總一、井部 辰男、
小山 貞榮、鳴海 榮子、青木 ユキ子

事務局：環境保全課：布施課長、渡邊副課長、岩崎副課長、村山主幹
北澤環境保全係長、井部主事

生活環境課：瀧本課長、平野副課長

8 発言の内容

(事務局)

ただ今から令和2年度第1回上越市環境政策審議会の会議を開催する。議題に入る前に、委員の交代があったため、報告させていただく。

～委員紹介～

(事務局)

本日の出席状況について報告させていただく。委員20名のうち、18名の出席である。上越市環境政策審議会規則第3条2項の規定により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立していることを報告する。

ここで、布施環境保全課長がご挨拶申し上げる。

(布施課長)

挨拶

(事務局)

本日の資料についてご確認いただきたい。

～資料確認～

議題

(1) 令和元年度の取組について

(事務局)

資料1-1、資料1-2、資料2に基づき説明

(山縣会長)

ただ今の事務局からの報告について質問・意見はないか。

(岩崎委員)

市民の感覚からすると、事業の達成や未達成などいろいろあるが、そのゴールの姿、これを達成したことによって、何が得られたのか、成果や効果があると非常に分かりやすいと思う。もし、今日の資料で記載があれば、教えていただきたい。別に資料があれば後日、出していただきたい。

(山縣会長)

この環境関連事業全体的についてということか。

(岩崎委員)

重要なものだけでよい。

(事務局)

委員のおっしゃる通り、事業の達成状況等について、数字の記載だけになっており、最終的にどのような姿を目指すのかというのが資料では読み取れない部分があるため、記載方法等については、検討させていただきたい。

(山縣会長)

基本的には環境基本計画が、現行の期間の目標設定になっている。それを目指して、各年度の目標が立てられていると思う。最終的なゴールがどこにあるかというのはなかなか難しい問題で、環境基本計画の目標設定に基づいて、環境関連事業の目標設定も理由づけされていると思うが、そういう認識でよいか。

(事務局)

環境基本計画に基づいた関連事業であるため、環境基本計画にそのようなあるべき姿、目標となる姿が記載してある。それに向かって各種関連事業を進めているため、最終的に関連事業が達成されれば、この環境基本計画の目指す姿が達成できると考えている。

(山縣会長)

環境基本計画は市ホームページでも公開されているほか、冊子もあるかと思う。

私からひとつ質問させていただく。二貫寺の森の管理運営費の100人というのは、何か講座を開いてそこに参加した人が利用者としてカウントされているものか。

(事務局)

環境関連の講座における参加者数である。

(山縣会長)

私の勤める大学の附属小学校も、環境学習で利用させていただいていたりするので、そういうものをもう少し広くカウントしてもいいのかと思う。

(2) 令和2年度の取組について

(事務局)

資料3-1、3-2に基づき説明

(山縣会長)

ただ今の事務局からの説明について、質問・意見はないか。

(田村委員)

資料3-2の個別目標の、「44番 学校給食での地場産野菜の使用拡大」の事業についてだが、この目的と目標が逆ではないかと思う。目的のところに「上越産の使用割合を平成30年度までに12%以上にする」と書いてあるが目標値が古く、前の中期目標とか何かを持ってきていると思うため、確認していただきたい。一方で、目標の方は「学校給食での地場産野菜の使用拡大を図り、地産地消を推進するため、地域との連携をさらに強化する」とある。こちらが逆に目的であって、本来、目標に何%以上にするというのが入ってくるのではないか。

I S Oをやっていたときに、目的と目標というのが、なかなか明確になってない事業者が多かった。目的があってその目的達成のために数値目標を立てるとというのが、本来のあるべき姿ではないのかなと思うので、ご検討いただければと思う。ここに平成30年度の数字が入ってきているというのは、おかしいと思うので、合わせてご検討いただければと思う。

(事務局)

目的と目標が逆ではないかということだが、事務局として改めて確認させていただく。目的のところに数字設定があるため、おそらく逆だと思うが、確認し、修正させていただく。

(岩崎委員)

今の話で、これは目標ではなく、指標ではないか。先ほどもお話したが、どうもゴールが見えない。指標はあるが目標が一つもない、だからなんのためにやっているのか、いつまでに何やるのかが分からない。これとは別に何かスケジュールがあるのかもしれないが、これらについてどうか。

(事務局)

先ほど会長からもお話いただいたが、基本的には第3次環境基本計画に基づき、環境関連事業を実施しており、毎年、目標設定を行い、事業の進捗管理を行っているところである。今回のこの個表についても、計画に沿って

進捗をまとめている。

なかなか先行きやゴールが見えないというお話もいただいたが、今後、計画の見直し等を行う中で、検討させていただきたい。

(吉田委員)

やはり、このようないろんな活動の目標については、進捗状況のデータを少し出していただかないと分かりづらい。ページ数が増えるかもしれないが、目標に対する今の立ち位置など、そういったデータがないと分からない。

風力発電の発電量の状況にしても、施設の一部廃止もあり、おそらくだいぶ落ちてきていると思うが、そういった傾向が分からない、やはりトレンドグラフなどデータを一緒に添付して、分かりやすいものにしていただければと思う。次回以降、そういった改善をしていただければ有難い。

(事務局)

現時点の目標に対する立ち位置が非常に分かりづらいということだと思うが、データで示せるものやグラフ等で示せる場合はそういったものを活用するなど、分かりやすい形でお示しできるよう、検討したい。

(3) 温室効果ガス排出量の削減状況について

(事務局)

資料4に基づき説明

(山縣会長)

ただ今の事務局からの説明について、質問・意見はないか。

(吉田委員)

私たちも温室効果ガスの削減には一生懸命取り組んでいるが、例えば、最も電気を使っているのはどこか、ガスの場合はどこかなど、円グラフなり、パレット図にまとめて、トレンドグラフを作成し、推移などを毎月監視している。やはりこういった内訳で一番大口のところを攻めるのが、改善のポイントかと思う。

温室効果ガス排出量のトータルは分かるが、どこで一番使っている、排出しているというのが分かる内訳があれば、それぞれの担当部署で一生懸命やらなくてはいけないところが見えてくると思う。やはり、電気の使用が一番多いのか。一番どこで使っているのか、お分かりであれば、教えていただきたい。

それから、また次の施策問題で出てくると思うが、私たちが省エネの活動がずっと続いてきており、ネタ切れな状態となっている。今あるのは、エアコン関係であり、設備を更新するとそれなりに効果があるということで、設備更新したりして成果を上げている。そういった攻めるポイントがどこなのか参考に教えていただきたい。

(事務局)

削減状況については、先ほど申し上げたとおり、電気、ガソリン、灯油等のエネルギーに対するものであるが、やはり施設の中で一番使用割合が多いのは電気である。全体の中で、細かい部分が見えにくいということでおっしゃられていると思うので、また改善できるところは改善していきたいと考えている。

(山縣会長)

今年は、新型コロナウイルスの影響により、施設が一時休館となったところも多く、夏も現在のところ、そんなに暑くなっていないため、例年と比べて、温室効果ガスの排出量は低くなるのではないかと思う。現状では、少し先行して目標をクリアしているが、このままでは、数年後には、追いついてしまうので、削減の方法をこの間にご検討いただければと思う。

(4) その他

(事務局)

資料5、エコオフィスの手引きについて報告

(山縣会長)

ただ今の報告2点について、何かご質問・意見はないか。

この省エネルギー化の取組について、初めに実施されたのはいつか。

(事務局)

公共施設の省エネルギー化の取組については、国の補助金が1号事業(体制整備に向けた調査・検討)と2号事業(設備等導入)に分かれており、平成30年度に1号事業、令和元年度に2号事業を実施した。平成30年度については、施設を選定する際の検証を行い、実際に設備を導入したのが令和元年度であり、2か年度にわたって実施している。

(岩崎委員)

省エネの観点からするとペーパーレス化というのは大賛成で、この会議も、この紙をやめた方がいいような気がする。他の審議会にも参加しているが、そこも書類が多くあり、例えば非公開の書類でなければ、市のホームページに出していただいて、会議はプロジェクターを使って説明していただければ、十分理解できる内容だと思う。そういった提案である。

(事務局)

資料のペーパーレス化については、皆さんから、事前に資料をご覧いただくことなど、なかなか運用的に難しい部分もあるかもしれないが、また事務局として、こういった方法がいいのか、検討させていただきたい。

(山縣会長)

委員の方それぞれのご都合もあると思うので、一律にすぐにとというのはなかなか難しいかもしれないが、社会全体そういう流れもあるため、ご検討いただければと思う。

(吉田委員)

空調機の公共施設の省エネルギー化の取組についてだが、先ほど発言したように会社でも、古いエアコンの更新で省エネを図っており、古いものは新しくしていただきたいと思うが、雁木通りプラザの空調は去年から故障していた。私はコーラスをやっているが、夏は暑くて暑くてどうしようもなく、冬は寒くて寒くてストーブを臨時で設置してやっていた。そういうことを反省していただいて、フロン使用の規制の関係や、製造年月日等を把握されて、古いものから、省エネを兼ねて、計画的に更新されることをお勧めしたいと思う。

(事務局)

先ほど申し上げたカーボンマネジメント事業の1号事業を平成30年度に実施した中で、どこの施設にどのような設備を導入するのが効果的か、検証を行った経緯もあるため、今後検討していきたい。

(山縣会長)

そのほか全体を通して意見・質問等はないか。
以上で議事を終了する。ご協力に感謝する。

(事務局)

次回の開催時期については、改めて調整、連絡させていただく。

以上で令和2年度第1回環境政策審議会の会議を終了する。

9 問い合わせ先

自治・市民環境部環境保全課環境保全係 TEL：025-526-3496

E-mail：kankyo@city.joetsu.lg.jp

10 その他

市役所木田庁舎、南出張所、北出張所及び各区総合事務所に備え付けてある会議資料もあわせてご覧ください。